

まえがき

～あなたはいつも、どんな方法^{ほうほう}で「コミュニケーション」していますか？～

今日^{きょう}、学校^{がっこう}であったことや 明日^{あした}、やりたいことなど

目の前^{め まえ}のだれかに伝えたい時^{とき}

目の前^{め まえ}のだれかから伝えてもらう時^{とき}

『言葉^{ことば}を声^{こゑ}に出して』

『相手^{あいて}の言葉^{ことば}を聴いて』

『しぐさや表情^{ひょうじょう}で』

といったように普段^{ふだん}、何気^{なにげ}なくコミュニケーションを取^とっていても

もし、目の前^{め まえ}のだれかが

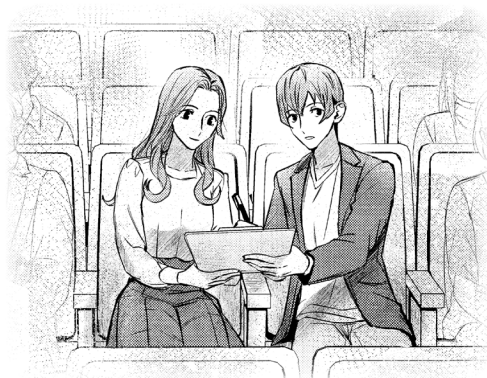
声^{こゑ}を出せなかったら

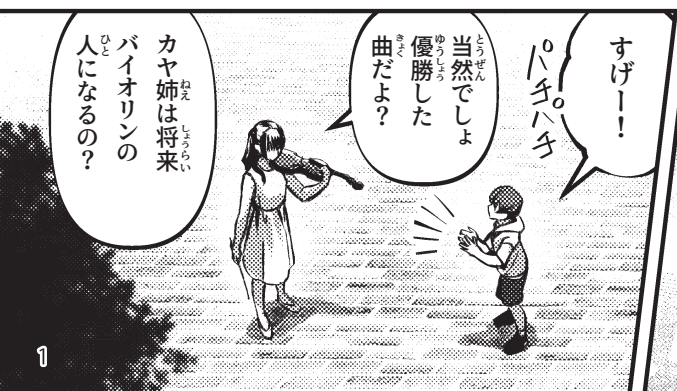
言葉^{ことば}を使^{つか}えなかったら

目^めが見えなかったら

耳^{みみ}が聞こえなかったら

そんな時^{とき}、あなたならどうしますか？





すげー！

ハキハキ

当然でしょ
優勝した
曲だよ？

カヤ姉は将来
バイオリンの
人になるの？





そうだな
なれたらいいな…

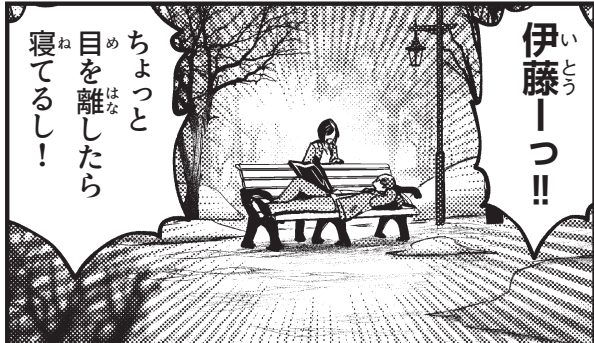
バイオリニスト？



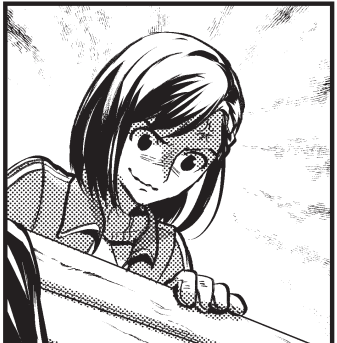
札幌市障がい者コミュニケーション条例啓発漫画 中途失聴・難聴編

伝えてつながる 言葉の輪

IF YOU HAVE HEARING LOSS



伊藤 とう
ーっ!!





ボランティア部の
活動でしょうが！

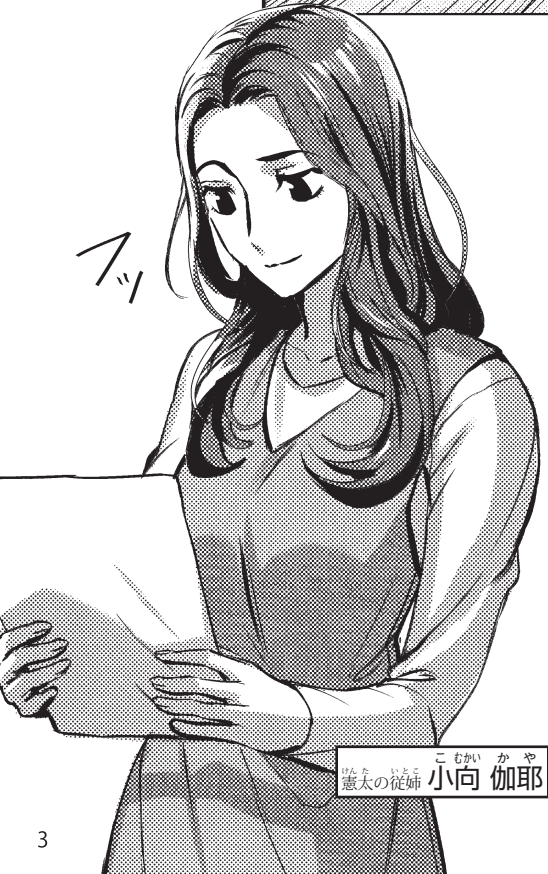
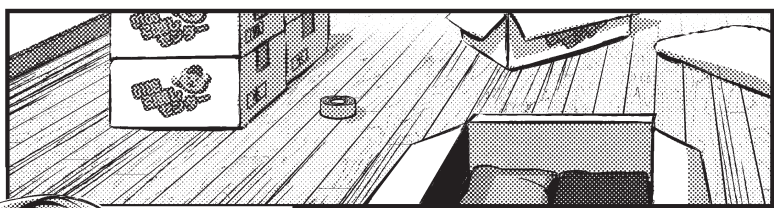
この時期は雪で隠れてた
ゴミが散乱してるの！

静楓中学校ボランティア部員
いわぶち かのん
岩瀬 花音



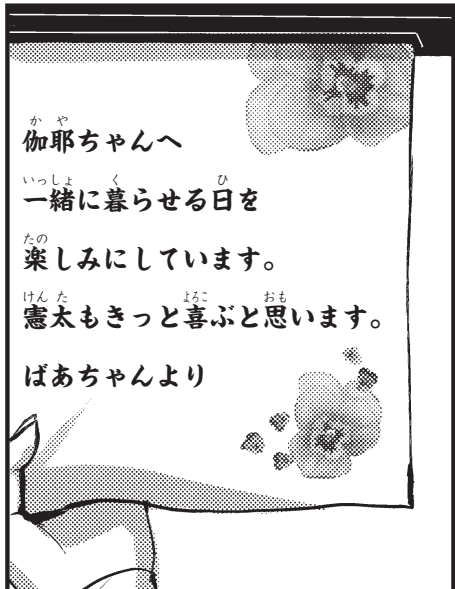
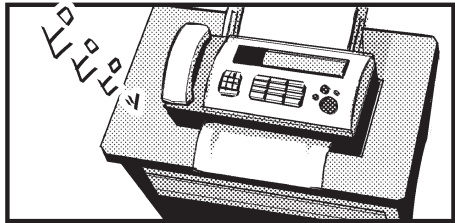
ふぁ〜
なーんで春休み中に
ゴミ拾いなんかやって
思うと眠気がさあ…

静楓中学校ボランティア部員
いとう けんた
伊藤 憲太



フッ

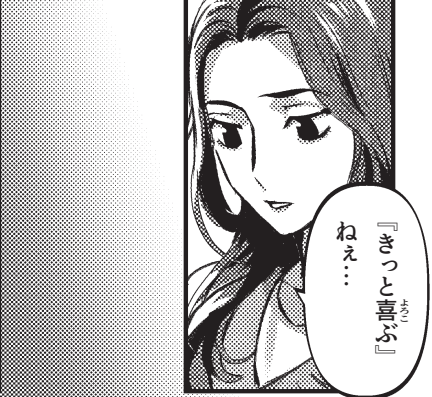
こむかい か や
憲太の従姉 小向 伽耶



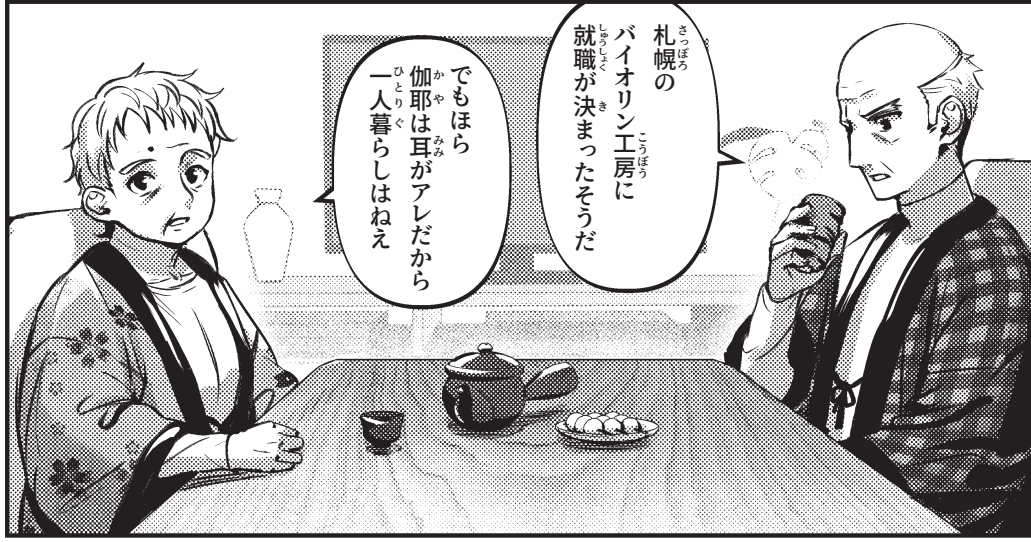
か や 伽耶ちゃんへ
いっしょ く ひ
一緒に暮らせる日を
たの 楽しみにしています。
けんた もきつと うれこ おも
憲太もきっと喜ぶと思います。
ばあちゃんより



カヤ姉がウチに？
住むの？



『きつと喜ぶ』
ねえ…



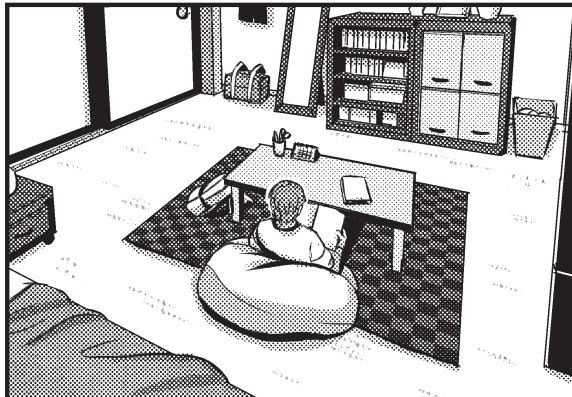
札幌の
バイオリン工房に
就職が決まったそうだ

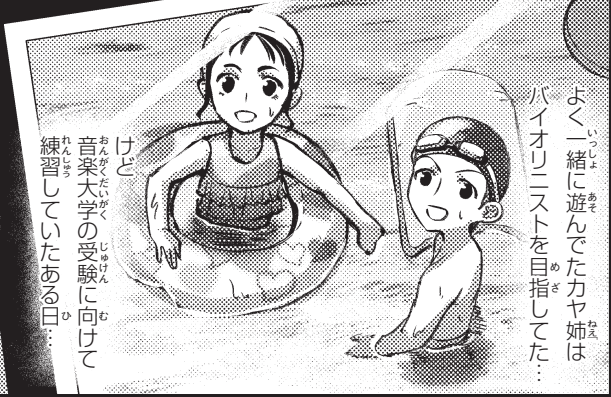
でもほら
伽耶は耳がアレだから
一人暮らしはねえ



部屋は余ってるから
いいんだけど…

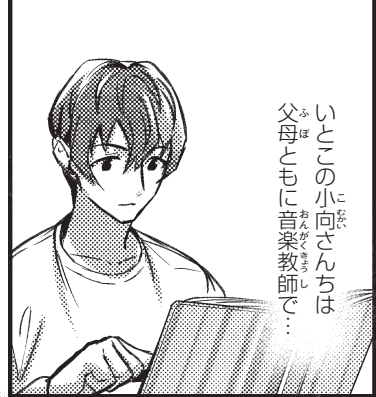
伽耶が
暮らしやすいように
しなくっちゃ



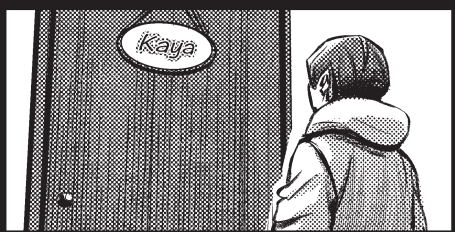
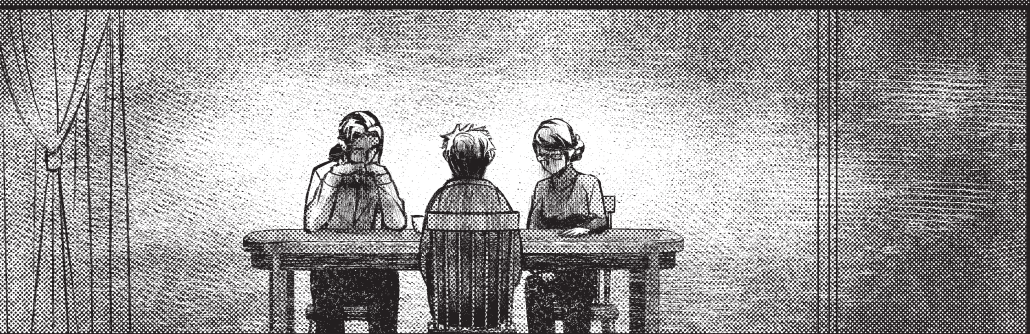


けど、音楽大学の受験に向けて練習していたある日…

よく一緒に遊んでいたカヤ姉は、バイオリニストを目指してた…

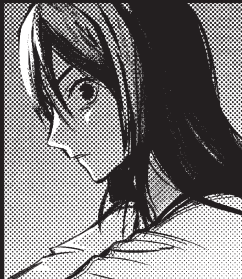


いとこの小向さんたちは、父母ともに音楽教師で…

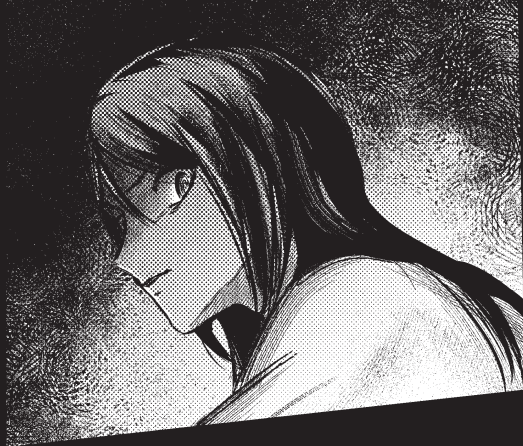


カヤ姉さん、ばあちゃんとお見舞いに来た

なんかの病気なの？



これ…

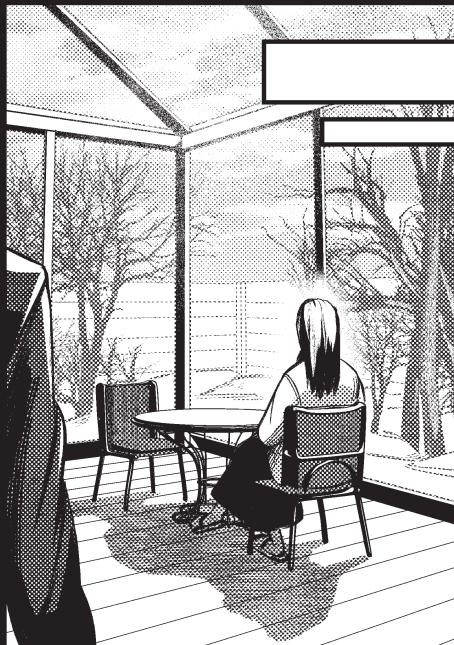


あげるから
げんきだして

観たがつた
ミュージカルの
DVD



命と言ってもいい
聴力を突然
失ってしまった



高校卒業おめでと～

なんでメール返事くれないの？

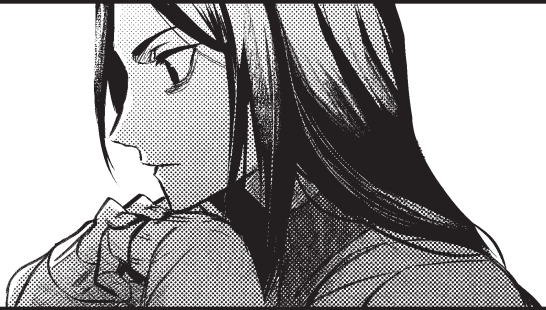
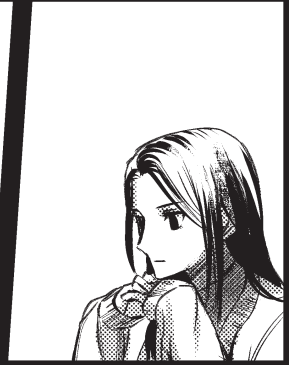
受験やめたから時間あるんでしょ？



気分転換しようぜ!

家に引きこもってるって聞いた

どっか遊び行かない?



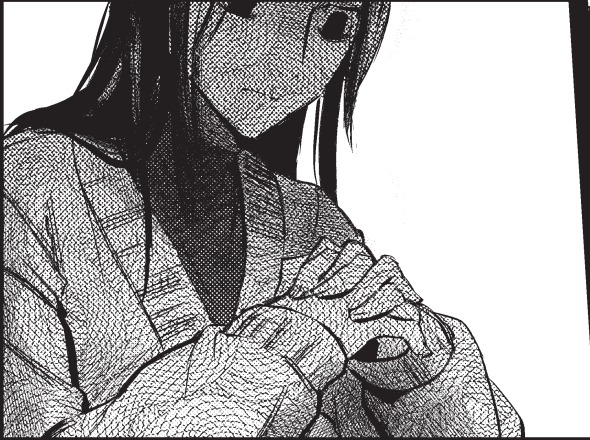
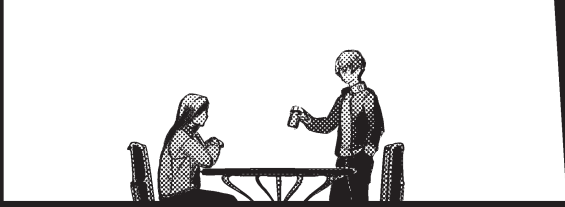
私は死んでも同然!

放っておいて!
あなたには何もわからない

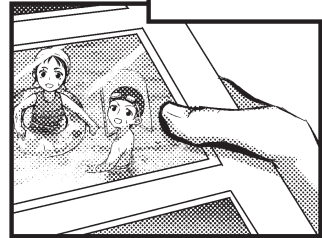
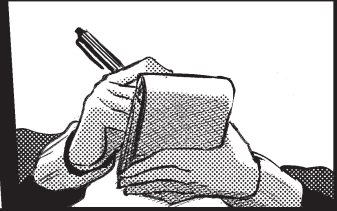


あのさ
すごく大変そうだし
可哀想だなんて思うけど
別に死んだわけじゃないじゃん

今は辛いだろうけど
きっと乗り越えられるって!



は？



聴覚障がいの種類と特徴

聴覚障がいとは、耳が聞こえにくい、あるいは聞こえない状態のことをいいます。聴覚障がいは、人によって原因や聞こえなくなった時期、聞こえ具合の状況は様々です。大抵の場合、日常生活や仕事を営む上で必要なコミュニケーションに影響を及ぼします。また、外見からは障がいの状況が判断しづらいため、理解してもらえなかったり、誤解されたりすることがあります。

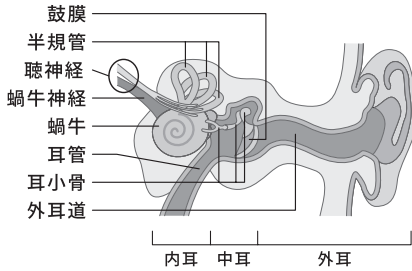
●聴覚障がいとは

音を伝えるための外耳・中耳や、音を感じ取るための内耳に何らかの障がいがあり、耳が聞こえにくい（聞こえない）状態です。

耳の構造は外耳、中耳、内耳で成り立っています。外耳は音をまとめて鼓膜に伝え、中耳では鼓膜や耳小骨などによって音の振動を増幅して内耳に伝え、内耳ではその音の振動を電気信号に変換し、脳へ伝えることで音が聞こえるようになります。

外耳と中耳は音を振動としてキャッチし、それを伝える動きをしますので、「伝音系」と呼びます。内耳は振動を電気信号に変換する働きがあり、それを脳へと伝えて音として感知するの「感音系」と呼びます。また、内耳には身体の平衡感覚を司る部位があります。

これらのいずれかに異常がおおきくと、聴覚障がいになる可能性があります。



性があります。

●障がい部位別による分類

伝音性難聴：外耳、中耳の障がいによる難聴で、空気振動が十分に伝わらないことが原因です。小さな音は聞こえにくいですが、音の明瞭さにはあまり影響を与えません。

感音性難聴：内耳、聴神経、脳の障がいによる難聴です。治療による回復が難しく、補聴器を使っても聴力を補うことは難しいと言われています。

混合性難聴：伝音性難聴と感音性難聴の両方の原因をもつ難聴です。

後迷路性難聴：感音性難聴のうち、特に蝸牛神経／脳の障がいによる難聴で、血管の異常、神経疾患、腫瘍性、脳機能障害など様々な原因があります。

●聴覚障がいになった時期による分類

先天性聴覚障害：生まれつき聴覚に障がいを持っている場合を指します。言語を獲得する以前に障がいがあるため、発音や会話が困難となります。新生児の千人に一人の割合で両耳の難聴があるとされています。

後天性聴覚障害：言語獲得後の幼児期以降に病気や事故などの理由で聴覚に障がいがある状態です。それまでの環境にもよりますが、文章の読み書きに問題がな／発音も普通と変わりにないレベルの方が多いです。

老人性聴覚障害：加齢に伴うもので、いわゆる「歳をとって耳が遠い」状態です。感音性難聴に含まれますが、内耳や聴神経だけでなく、加齢とともに鼓膜や耳小骨なども老化していきますので、障がいも広範囲に渡ることが特徴です。

中途失聴・難聴とは？

中途失聴・難聴(者)とは、人生の途中で聴力を失った、又は聞こえづらくなってしまうこと(人)を言います。

中途失聴・難聴者はある程度の年齢で話しことは覚えて後で聴力を失っている場合もあるため、聞こえなくても話せる(発話できる)人、手話は使えない(使わない)人、失聴後に手話を身につけて手話でコミュニケーションを取ることを基本とする人など様々ですが、相手の話している言葉は聞くことが難しいため、音声でのコミュニケーションには困難を抱えています。

●中途失聴・難聴の原因

先に挙げた事故や病気、騒音、ストレス、遺伝の他にも、薬の副作用やウイルスによるものなど、中途失聴・難聴の原因はさまざまです。ヘッドホンなどで大きな音を聞き続けることによる有毛細胞の損傷が原因となることもあります(音響外傷)。また、原因不明で発症する突発性難聴もあります。

●中途失聴・難聴者が困っている点

中途失聴・難聴者の場合、先天性の障がいとも異なるいくつもの困難があります。災害・緊急時に情報が伝わらないという生命に関わる問題だけではなく、次に紹介するような困りごとがよく問題として挙げられます。ただし、困りごともそれぞれのため、固定的な捉え方をしないよう注意が必要です。

補聴器になじめない。

中途失聴・難聴者にとって聞こえないことによる生活の不便さはありませんが、人間の脳は次第に聞こえない生活に慣れていきます。その状態で突然補聴器をつけることで、普段以上の情報に接し、脳の処理がうまく間に合いません。慣れにかかる時間もどの程

度まで慣れることができるかも人それぞれです。また、補聴器は耳が詰まったような感じがして不快に言う人もいます。自分が中途失聴・難聴者であることを受け入れよう。

中途失聴・難聴者は耳が聞こえなくなった障がいを受け入れるまでに時間がかかります。それまで耳から当たり前に得ていた情報が、得られなくなることに茫然自失してしまうこともあります。音声言語によるコミュニケーションが難しくなるので、家族や友人との会話がスムーズにできなくなり、孤立してしまいがちです。

手話を使うとは限らない。

「聴覚障がい者＝手話が使えろ」という固定観念を持ちがちです。しかし、手話をコミュニケーション手段としている人は聴覚障がい者全体の2割ほどしかいないのです。

中途失聴・難聴者は、補聴器や人工内耳を装着しても完全に聞き取ることは難しいため、さまざまコミュニケーション方法を取り入れて聞こえを補っています。手話を使う際は、日本語文法に手話単語を対応させて使う人が多くとも言われています。話せると聞こえると思われ。

中途失聴・難聴になった人は発話には問題がない場合もあり、手話は使わず、普通に話すことができる人が多いです。これは、音声言語を習得してから失聴したため、それまでの生活の中で身につけた発音ができているからです。

また、相手の話している唇を読み取る読話(口話)によって相手の言うことをある程度理解できる人もいます。そのため、ごく普通に会話ができるように思われる、耳が聞こえると思われることが多くあります。しかし、実際には読話は、周囲が想像する以上に集中力を必要とするのです。



いちいち紙に書くの大変っしょ

そんなワケでえ
同居するにあたって
定型文メモとか
用意すべきかなって



なるほど

それで急に
呼んだんだ



伽耶さん

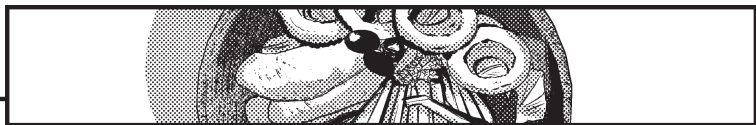
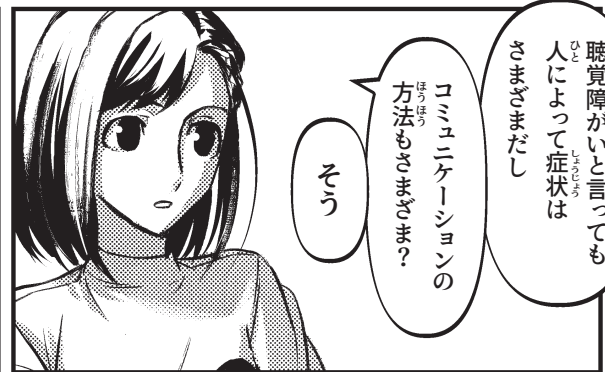
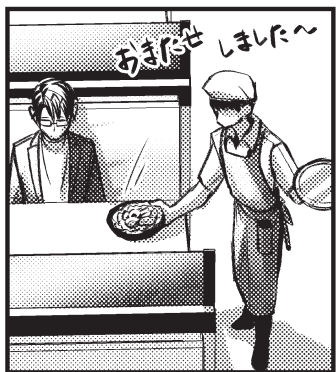
伽耶さん
手話は？

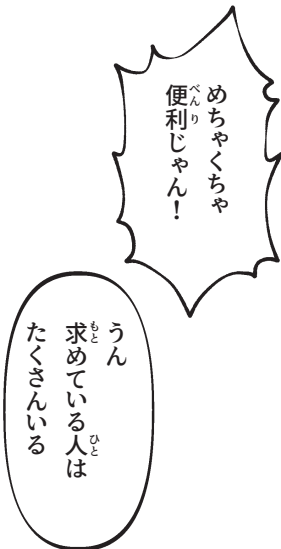
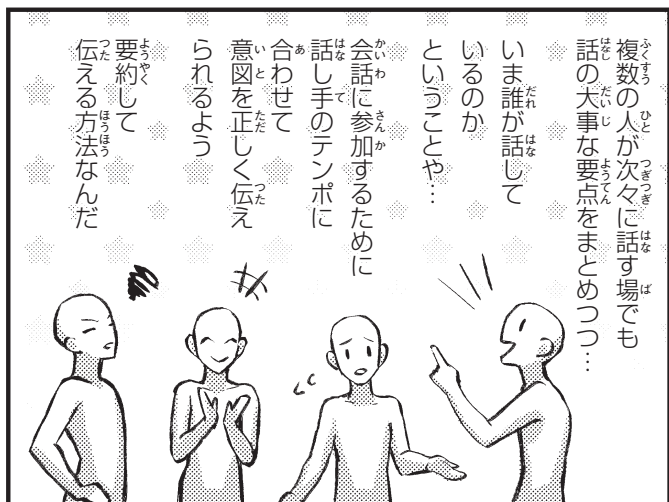
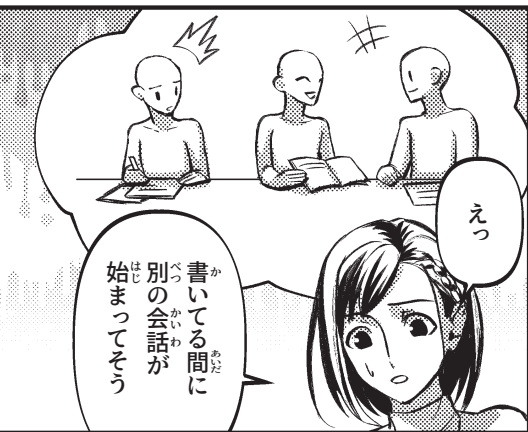
手話落語！
へ～！

伽耶さん

聴覚障がい者との
コミュニケーションは
まず手話かな
『手話落語』なんてのも
あるくらいメジャーな
方法だ

静楓中学校ボランティア部前部長
ゆうき じょうじ
結城 文二







そんなカンタンに
できる〜？

できる男こと伊藤憲太
すばっとマスターして
やりますよ！

ふーん…
じゃ…

しかし認知度が低かったりで
できる人が足りてないのが
現状らしい



要約筆記は
筆記通訳とも
呼ばれていて

「正確さ」
「速さ」
「読みやすさ」が
求められる
からなあ

オレ字メツチャ
自信ありますよ！
速いしキレイだもん！

たしか
姉の知り合いに…



頼れるし優しいし
おごってくれる！

さすがは
元部長！

割り勘な



福祉センターで
要約筆記講座を
勉強してる人がいたな
話を聞かせて
もらえないか
頼んでみようか？

おねしやーす！